

衛生委員会の取組で参考となる事例

(昨年度の各所属での衛生委員会取組の好事例・それ以前の好事例等から抜粋)

職場環境に関する取組

＜職場巡視計画に関する事例＞

- ・巡視のチェックシートを作成する
- ・衛生管理者に加え、衛生委員会の委員や他の職員と一緒に巡視を行う

＜職場巡視の結果等を受けた対応審議の事例＞

- ・環境測定（照度測定）の結果、照度の不足する教室等の照明追加を検討する
- ・通路の段差へのスロープ設置や滑りやすい場所へのマットの設置など危険箇所への対応を検討する
- ・通路等に置いている荷物の撤去について検討する
- ・休養室の場所の検討や、利用方法の周知など、活用しやすい方法を検討する

[事例のほか、参考となる取組]

- ・地震対策（ロッカー転倒防止のため金具等による固定を行うなど）を検討する
- ・コミュニケーションのとりやすい配置への職員室内の様様替えを検討する
- ・より利用しやすいよう、書類や備品の整理整頓を検討する

勤務負担軽減に関する取組

＜勤務時間終了後はできるだけ早く退庁する意識づけを行う事例＞

- ・管理職等が勤務時間終了後に職場内を見回り、時間外業務を行っているものの内容や終了予定を把握し、できるだけ早く帰れるよう声かけを行う
- ・定時退庁日を設定する

学年団ごとなど集団を分けて定時退庁日を設定し帰りやすい雰囲気をつくる、交代で早く帰る当番を定める、長期休業中などに定時退庁週間を設定する、朝礼や勤務終了時に呼びかけるなど

＜業務の改善・縮減の事例＞

- ・ノー会議デー、ノー部活デーを設定する
- ・会議時間の短縮や時間帯の工夫
事前に資料を配布する、会議終了予定時刻を厳守する、放課後に実施する会議を減らすなど
- ・「教員多忙化に関するアンケート」を実施する
- ・業務記録票の分析（超過勤務の多い時期、業務内容）を割り出し超過勤務の原因と対策を検討し、「超過勤務の対策の計画」を策定する
- ・業務記録票の分析等により、分掌の見直しや業務の平準化を検討する
- ・業務記録票の分析をし、健康管理医にアドバイスをもらう
- ・毎月、業務記録の集計結果（勤務時間の平均値）を管理職から職員へ公表する
- ・業務記録票を業務内容毎に集計し、どの業務に時間外が多いか分析し、時間外業務軽

減への意識を高めた。

- ・簡易な連絡事項は職場内 LAN やグループウェアを活用する
- ・校務や部活動の担当者を複数化し、負担の軽減を図る
- ・校内研修の集約並びに会議研修非開催期間を設ける
- ・口頭復命可能な出張の復命書作成の廃止
- ・時間外勤務が多い職員について、警備委託業務に係る緊急連絡先から外す
- ・勤務時間外の電話対応について、留守番電話で対応する
- ・業務の見える化ワークシートを作成し、繁忙期・閑散期を把握、事務のシェアリングを実施する
- ・人事異動での確実な事務引継を行い、負担の軽減を図る
- ・成績処理の省力化を進め、実力・課題考査の通知表送付を廃止
- ・複数人が出張する旅費入力を事務室で代理入力し、入力事務軽減を図る
- ・「本日〇時に退庁します」等の札を作成し、机上に表示する
- ・幹部会議等において、毎月、時間外勤務調査票により現状認識を行うとともに、データで集計し前年度実績とも比較して、職員の時間外縮減に対する意識の高揚を図る
- ・通知表発送作業の繁雑さを解消するため、発送用封筒をのり付きにする

<教職員相互に連携を行う事例>

- ・教材等の共有化を図り、教材集めや教材作りにかかる時間を軽減する
- ・分掌の繁忙期、閑散期に応じた「お手伝いの心がけ」を実践する

<過重労働健康障害防止対策などの制度の活用に係る取組事例>

- ・時間外が多い者に管理職から健康相談等の声かけを行う
- ・週休日の振り替えや勤務時間の割り振り変更等の対象者にお知らせを行う
- ・8月に職員室閉鎖期間を設定し、休暇取得率を上げる

[事例のほか、参考となる取組]

- ・学校運営に関する業務マニュアルの作成

健康管理に関する取組

<議題の例>

- ・健康診断受診状況を確認する
- ・健診の結果有所見者があれば精密検査・治療等受診促進を行う
- ・各種がん検診や特定保健指導等の受診・利用促進の周知を行う
→特定保健指導の概要（体験談）を該当者が紹介する
- ・ウォーキングコンテスト参加等健康づくりのための取組など
- ・喫煙者に対して喫煙を控える指導を行う

<健康管理医に関するもの>

- ・健康管理医による講話（健康管理やメンタルヘルスなど）を企画する
- ・健康管理医による希望者への健康相談（よろず健康相談のようなもの）を企画する
- ・健康管理医から職員の予防接種の接種率を上げるよう指導（インフルで学級閉鎖）

- ・インフル予防接種希望者のとりまとめを行い、学校近隣の医療機関と調整する

メンタルヘルス対策に関する取組

<各種事業の周知を行う事例>

- ・ストレスチェックの利用促進を行う
- ・相談窓口を周知する
- ・ストレスチェックを受検していない人に個別に文書を配布し周知する
- ・ストレスチェック事業の集団分析結果を校内サーバーの共有フォルダに保存し、今後の職場環境改善に活用

<研修計画>

- ・メンタルヘルス出前研修の実施や、メンタルヘルス DVD の視聴などを企画する

<職場のコミュニケーション向上のための取組事例>

- ・ウォーキングコンテストへの積極的参加や所属独自での実施を企画する
- ・健康づくりに関する研修会を企画する
- ・健康標語や職場環境に関するアイデア募集などを行う
- ・心を支える職場づくりの提言「あ・か・さ・た・な」を職員会議資料に掲載する

その他

<公務災害防止の取組事例>

- ・危険な事例をまとめた資料を作成、配布する
→（参考）事故の状況別では「運動中」、災害パターン別では「転倒、転落・墜落」が多くなっている。たとえば下り階段からの転落では「足元が見えない」、「急いでいる」「不安定な履物を履く」という行動は危険

<労働安全衛生法等の周知に関する取組事例>

- ・労働安全衛生法等の規定や、衛生委員会の役割などを再確認する
- ・労働安全衛生法の改正ポイントについて周知する

[事例のほか、参考となる取組]

- ・作業中のヒヤリ・ハット体験の報告を集め、分析する
- ・全職員対象アンケートを実施し、問題点や危険箇所等を把握する

衛生委員会の運営に関すること（H26 担当者講習会講義より）

- ・安全管理だけでなく衛生管理においてもリスクアセスメント（潜在的な危険性や有害性を見つけ出し、そのリスクに優先度を定めて、順次リスクの除去や低減を図る）の考え方が必要となってきた
- ・衛生委員会で、成功事例や好事例だけでなく失敗事例や悪事例を取り上げることも必要
→失敗事例から対応策を検討することで、改善に結び付けることができる